

オリコンサル

DX推進本部を新設 事業モデルと業務マネジ変革

オリエンタルコンサルタンツは、DX（デジタルトランスフォーメーション）に関する社会的動向などを踏まえ、新たに「DX推進本部」を3

日付で設置した。本部長には青木滋取締役専務役員が就任。統括本部からIT推進室を移管し、「事業モデルの変革」と「業務マネジメントの変革」に取り組む。

同社は従前からBIM/CIM、GISの業務活用と人材育成を推進するとともに、AI（人工知能）・IoT（モノのインターネット）の活用を進めてきたが、今後はDX推進本部を中心に、6つの重点化事業（道路整備・保全、流域管理・保全、防災、交通運輸、地方創生、海外事業）と連携・協働する形でデジタル技術を駆使し、さらなる高度化・総合化、新たな事業モデル・技術モデルの構築を目指していく。

また、「業務マネジメントの変革」では、コロナ禍でのテレワーク体制の整備・促進やRPA・ワークフローの導入、IT基盤整備など従前からの取り組みを加速させながら、生産プロセスや社内事務のデジタル化を進め、生産性の向上や働き方改革を推進し

ていく。

野崎秀典社長は「DXという観点から重点化事業をどう総合化・複合化して新たな価値を創造し提供していくか。2021年9月期はその流れを加速化させ、変革にチャレンジする年にしたい」と意欲を示している。